

<令和5年11月定例記者会見>

1 開催日時

令和5年11月10日（金）午前10時30分～午前11時

2 場所

滝沢市役所 庁議室

3 来庁した報道機関

盛岡タイムス社、岩手ケーブルテレビジョン、岩手日報社、NHK盛岡放送局

4 発表事項

(1) 消防体験フェアの開催について（防災防犯課）

11月9日（木）から11月15日（水）まで、全国一斉に秋季火災予防運動が実施されます。

市では火災予防運動行事の一環として、11月12日（日）午前10時から、滝沢市多目的研修センターを会場として「消防体験フェア」を開催します。

会場では、水消火器・ミニポンプ車を使用した「初期消火・模擬放水体験」、の他県の防災指導車「防災そばっち号」による大地震の乗車体験、盛岡中央消防署に配備されている「はしご車」や「消防ドローン」の特別展示を行います。

また、「消防体験フェア」の隣の会場では、滝沢市消防団による「火災防御訓練」を実施します。

当日は、令和5年度防火ポスターコンクール、盛岡地区広域消防組合「消防長賞」を受賞した下鶉飼少年消防クラブ員の笹村洋斗（ささむら ひろと）さんが、一日消防署長として火災防御訓練の指揮と訓練巡視を行います。「一日消防署長」の辞令交付では、消防制服を着用して記念撮影を実施します。

「消防体験フェア」の会場は車両進入禁止となります。来場者駐車場は、篠木小学校をご利用ください。皆様のご来場をお待ちしています。

(2) 滝沢市クアオルト健康ウォーキングに関するクアの道認定式典及び体験会の開催について（健康づくり政策課）

滝沢市クアオルト健康ウォーキングに関するクアの道認定式典及び体験会を実施しますのでお知らせします。

この度、本市ではビッグルーフ滝沢を発着点とし、滝沢総合公園内を歩く「クアオルト健康ウォーキング」を実施するための専門コース「クアの道」を整備し、自治体主導によるものとして県内で初めてクアの道の認定を受けます。併せて、クアオルト健康ウォーキングに必要な専門ガイドを今年度内に3人養成します。

これに伴いまして、クアの道の認定式典とクアオルト健康ウォーキング体験会を開催します。

開催日は、11月18日（土）午後1時から認定式典を行います。認定式典終了後に市民の皆さんを対象に体験会を開催します。

申込は、ビッグルーフ滝沢の総合案内で11月15日（水）まで受付しております。

開催日当日はクアオルト健康ウォーキングガイドの最上位資格であるクアオルト・テラポイントを有する、2019年ミス日本みどりの女神の藤本麗華（ふじもとれいか）さん

をゲストに招き、認定式典の他、体験会にも参加していただきます。皆様どうぞご参加ください。

(3) 第45回チャグチャグ馬コ写真コンテスト入賞作品カレンダー2024の販売について（観光物産課）

滝沢市観光物産協会では、第45回チャグチャグ馬コ写真コンテスト入賞作品カレンダー2024の販売を開始しました。

8月21日に行われた写真コンテストの入賞作品12点を月毎に掲載しております。販売価格は1部1,500円（税込）で、ネットショップ「チャグまるしえ滝沢」、ビッググループ滝沢内の協会窓口で販売しているほか、ふるさと納税返礼品として登録される予定となっています。

カレンダーの販売は、チャグチャグ馬コのPR、馬事振興を目的とし、収益金の一部を滝沢市チャグチャグ馬コ同好会に寄附する予定としています。

5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：「クアオルト」について、運動療法と食事・休養を組み合わせたものということですが、今回運動のルートとして総合公園のコースが認定されるものという理解でよろしいですか。

健康づくり政策課長：クアオルトはドイツ発祥です。ドイツでは保養地・療養地という「場所」を指す言葉ですが、それを日本式に改良して、健康指導や健康づくりに役立つものがこの度のクアオルト健康ウォーキングになります。名古屋にある㈱日本クアオルト研究所という、クアの道の認定やコースの開発を行っている会社の監修を受けて、今回クアの道を設定し、11月18日の式典をもって県内自治体主導初の認定となります。

記者：すでに認定されているものではなく、18日をもって認定ということですね。

健康づくり政策課長：そうです。

記者：県内自治体主導では初の認定ということで、市長からこんな風に活用してほしいなどの思いはありますか。

市長：歩くことは、筋力アップや気分転換、健康維持にすごくいいものです。自然や四季の移ろいを感じながら歩けるとするのがこの健康ウォーキングのポイントかなと思っています。総合公園の風景も楽しんでもらいながら、健康維持や筋力アップなど様々なことに効果が出ることを期待しています。

記者：クアオルトについて「整備」という表現がされていますが、市で予算を出して何かハード面で整えたものがあるということですか。

健康づくり政策課長：クアオルト健康ウォーキングは専門ガイドと一緒にコースを歩くものです。所々で脈拍を測ったり、簡単な運動などを取り入れながら、運動強度を高めたりして時間をかけて歩くものです。3.21kmのコースであれば普通に歩くと40分程度のコースになりますが、アクティビティを加えながら歩くことで1時間半～2時間くらいかけてゆっくり運動をすることになります。配布しているマップに記載の通り、ポイントごとに看板があり、そういった整備も行っています。また、都市整備部

でふれあいの森に健康遊具（背伸び式のベンチやうんていなど）を設置してもらっています。

副市長：ふれあいの森については老朽化ということもあり、先ほどの健康遊具の設置に加え、歩く道についても整備し直しています。

記者：今回の取り組みを始めるに至った経緯を教えてください。

健康づくり政策課長：第一次総合計画の後期基本計画の中で、健康づくりが展開戦略の一つとして位置づけられた際に、健康に興味のない人「健康無関心層」に対してアプローチできるものがないかということで、健康づくり政策課が当時新しい課としてできました。様々な健康施策を探す中で「頑張らない、無理しない」クアオルト健康ウォーキングがあるということが分かりました。そこで2年ほど前から先進地視察（山形県上山市）を行ったり、㈱日本クアオルト研究所と連携したりしながら、これまで検討を重ねてきたものです。

記者：専門ガイドと一緒に歩くもののお話でしたが、定期的に市としてそういったイベントを開催するものなのか、予定などはありますか。

健康づくり政策課長：今年度に関しましては18日が初回の体験会（ウォーキングの開始）となります。残念ながら雪が降ってきてしまうので、今年度はそれ以降はガイド自身の研修期間という位置づけにしています。雪が溶けて令和6年度以降については、現在予算の関係で調整中ですが、例えば月に何回かなど定期的を開催することを検討しています。併せて、ビッグルフ滝沢で独自事業などもありますので、ヨガやリラクゼーションなどを組み合わせて楽しめるイベントを開催できるように調整を進めています。

記者：ガイドについては市で用意しているのですか。委託のような形なのでしょうか。

健康づくり政策課長：運営についてはビッグルフ滝沢に委託しており、ガイドについてもその中で推薦いただいています。今後、今回のコース以外を考えていく際には、体育協会や山岳協会などの協力もいただきながら、新たなガイドの養成なども必要と考えています。

記者：現在のガイドは何人ですか。

健康づくり政策課長：3人です。こちらも18日にデビューです。

記者：雪の話がありましたが、冬の期間はこういった活用がされるのですか。冬は難しいものなのか、活用できるものなのか教えてください。

健康づくり政策課長：ほかの自治体でも雪の中でやっているところもあり、活用できないものではありません。雪の間閉鎖するということもありません。一度参加してやり方が分かれば、あとは自身で自由にコースを活用いただいても構いません。

記者：コースの除雪などはするのですか。

健康づくり政策課長：自然の状態で歩くのが基本となるので、除雪はしませんが、総合公園内であれば体育協会のほうで適宜除雪してくださるので、市民の皆さんには自由に歩いていただければと思います。

6 その他記者からの当日質問

なし